

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

1. 推進事業(全取組共通)

事業費	19,446,000円(うち交付金 19,078,000円)	都道府県名	茨城県
	うち地域提案メニュー分	円(うち交付金	事業実施年度
	-	-	平成20年度

現状と課題	
経営力の強化	<p>本県の耕作放棄地面積(販売農家+自給的農家+土地持ち非農家)は年々増加し、平成12年の16,205haから平成17年には20,357haと、5年間で4,152ha増加している。これは、農家数の減少や高齢化の進行など担い手不足が主な原因であることから、その解消・発生防止に向けた取り組みが課題となっている。</p> <p>また、本県の担い手に対する農地の利用集積率は、県の目標(平成22年度:40%)に対して、平成17年度末20.5%と、目標達成が厳しい状況であることから、認定農業者等担い手への利用集積と併せて、特定農業団体等集落営農組織も育成することが課題となっている。</p> <p>本県の平成18年12月末の認定農業者は、7,476経営体であり、平成19年産から導入された経営所得安定対策や、平成18年5月に導入された残留農薬基準のポジティブリスト制度に対応するため、認定農業者ならびに集落営農など、担い手の育成・確保を図ることが重要である。</p>

課題を解決するため対応方針	
経営力の強化	<p>県では、農業委員会による農地のあつせん活動や、農林振興公社による農地保有合理化事業、さらには土地基盤整備等を活用して、認定農業者等担い手への農地利用集積を進めた。また、「遊休農地再活用促進事業」を設けるなど、更なる遊休農地対策の充実を図ることとし、普及センターでは、遊休農地の解消と併せ、地域の特性にあった有効利用を推進するため、簡易放牧等の技術指導などを行った。</p> <p>本県では平成18年度から「企業等を活用した遊休農地再活用促進事業(県単)」を創設し、特定法人貸付事業の実施市町村において農業に参入する企業・NPO法人等に対する支援を行っているが、現状では参入を希望する企業の情報や活動事例等の収集手段が無いことから、「特定法人等農地利用調整緊急支援」を活用し、県農業会議が行う市町村農業委員会に対する指導(農業参入企業の掘り起こしや参入企業への農地の利用調整活動への支援)や各種の情報収集活動に対して支援を行った。</p> <p>平成19年産から導入された経営所得安定対策に対応するため、関係団体や市町村等と連携して、認定農業者及び集落営農組織等、担い手を育成・確保するとともに、本県農業を持続的に発展させていくため、様々な就農ルートや就農形態を踏まえ、農家子弟を中心とした担い手確保に加え、団塊の世代などのUターン者、農外からの参入者などの新規就農者や定年帰農者等、地域農業を支える者を継続的に確保・育成できる体系的なシステムづくりを進めた。</p> <p>また、平成18年5月に、残留農薬基準のポジティブリスト制度が導入され、農業者は農薬散布に対して、他の作物等への飛散がないように飛散防止対策を行うことが求められている。普及センターでは、ポジティブリスト制度への的確な対応を通じ、認定農業者の育成を支援し、担い手の育成・確保を図った。</p>

都道府県における目標関係							備考	国による点検評価
政策目標	取組名	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況				成果目標の具体的な実績	
			計画時(平成19年度)	実施後(平成20年度)	目標(平成20年度)	達成率		
担い手の育成・確保	認定農業者等担い手育成対策の推進	当県において認定農業者の育成・確保を行う。	7,954経営体 (平成20年3月末)	8,205経営体 (平成21年3月末)	8,530経営体 (平成21年3月末)	43.6%	増加数251経営体 × 100 = 43.6% 目標数576経営体	
担い手への農地利用集積の促進	農地利用集積の推進	担い手への農地の利用集積率	22.4% (平成20年3月末)	23.7% (平成21年3月末)	24.9% (平成21年3月末)	52%	利用集積率の増加実績1.3% × 100 = 52% 利用集積率の増加目標2.5%	
新規就農者の育成・確保	道府県農業大学校等再チャレンジ活用推進	新規就農者の育成	従来の研修教育課程修了者の就農者数70名 (平成20年3月末)	新たな研修教育課程修了者の就農者数82名 (平成21年3月末)	新たな研修教育課程修了者の就農者数76名 (平成21年3月末)	117%	研修教育課程修了者の就農実績82名 × 100 = 117% 計画時の就農予定者数70名	

○地域提案メニューの内容

事業実施地区数 (ア)	評価対象外地区数 (イ)	評価対象地区数 (ア)－(イ)	評価対象外の地区がある場合、 その代表的な理由	総合所見
4	0	4		<p>県段階及び市町村段階に設立した担い手育成総合支援協議会が中心となって、説明会や戸別訪問等による認定への誘導を行い、認定農業者8, 205経営体を育成した。今後も、県農業・農村振興計画や担い手育成総合支援協議会のアクションプログラムに基づき認定農業者の育成・確保に向けた取り組みを推進する。</p> <p>農地利用集積率はH19. 3月から向上しており、H21. 3月現在では23. 7%である。今後も水田経営所得安定対策の要件を満たす農業者の育成等の推進により、担い手への農地利用集積を図る。</p> <p>また、新規参入者や団塊の世代など定年帰農者を対象とした就農支援研修に126名が参加し、82名が就農した。今後も新規参入者や団塊の世代など定年帰農者を対象とした就農支援研修を開催し、新規就農者の育成を図っていく。</p>

(別紙様式2号別添)

別添2 都道府県内における推進事業取組実施状況一覧表

政策目的	政策目標	市町村名 (または地区名)	事業実施主体	取組名	計画策定時		事業実施後(目標年度)		その他 参考となる 事項	事業費 (円)	負担区分(円)				目標達成 状況 B/A	事業主体等による評価結果	都道府県による点検評価 結果(所見)
					成果目標(A)	事業内容(計画)	成果目標に対する 成果実績	事業実績			交付金	都道府県 費	市町 村費	その他			
経営力の強化	担い手の 育成・確保	—	茨城県	農業飛散防 止普及活動 緊急支援	出荷停止日数0 日	農業飛散防止技 術検討会の開 催、現地実証ほ の設置、研修会 の開催	残留基準値超過 が3事例。回収。 再発防止のため の農業適正使用 指導の徹底。	農業飛散防止技術検討 会の開催、現地実証ほ の設置、研修会の開催		4,875,000	4,875,000				100.0%		農家における適切な農業 使用状況の記憶推進と農 業飛散低減のための新技 術に関する講習会等を実 施した。今後も普及セン ター、JAが連携して、 制度の周知徹底及び農業 適正使用と農業の飛散防 止対策の推進を図る。
	担い手へ の農地利 用集積の 促進	—	農業会議	特定法人等 農地利用調 整緊急支援	農地集積率 22.4%(平成20年 度3月末) →24.9%(平成21 年3月末)	遊休農地の利活 用を図るため、 特定農業法人貸 付制度のPRや 遊休農地の情報 収集・実態把握 の実施	農地集積率 23.7%	遊休農地の利活用を図 るため、特定農業法人 貸付制度のPRや遊休 農地の情報収集・実態 把握の実施		487,000	487,000				52.0%	農地利用集積率はH19.3 月から向上しており、H 21.3月現在では23.7%で ある。今後も水田経営所得 安定対策の要件を満たす農 業者の育成等の推進によ り、担い手への農地利用集 積を図る。	農地利用集積率はH19. 3月から向上しており、 H21.3月現在では23. 7%である。今後も水田 経営所得安定対策の要件 を満たす農業者の育成等 の推進により、担い手へ の農地利用集積を図る。
		—	茨城県	新技術活用 優良農地利 用高度化支 援	農地集積率 22.4%(平成20年 度3月末) →24.9%(平成21 年3月末)	遊休農地解消等 の技術実証ほの 展示、現地検討 会の開催、技術・ 経営指導の実施	農地集積率 23.7%	遊休農地解消等の技術 実証ほの展示、現地検 討会の開催、技術・経 営指導の実施		1,463,000	1,463,000				52.0%	農地利用集積率はH19. 3月から向上しており、 H21.3月現在では23. 7%である。今後も水田 経営所得安定対策の要件 を満たす農業者の育成等 の推進により、担い手へ の農地利用集積を図る。	農地利用集積率はH19. 3月から向上しており、 H21.3月現在では23. 7%である。今後も水田 経営所得安定対策の要件 を満たす農業者の育成等 の推進により、担い手へ の農地利用集積を図る。
新規就農 者の育 成・確保	—	茨城県	道府県農業 大学校等再 チャレンジ 活用推進	就農者を76名確 保	新規参入者等や 団塊の世代など 定年帰農者向け の就農支援研修 の開催	就農者を82人確 保	新規参入者等や団塊の 世代など定年帰農者向 けの就農支援研修の開 催		12,621,000	12,253,000	368,000			117.0%		新規参入者や団塊の世代 など定年帰農者を対象と した就農支援研修に126 名が参加し、82名が就農 した。今後も就農支援研 修を開催し、新規就農者 の育成を図っていく。	
合計	—	—	—	—	—	—	—	—	19,446,000	19,078,000	368,000			—	—	—	